

## 24時間空港サービスの海外事例について (シンガポール・香港)

---

## 調査時期

平成21年4月8日～10日

## 調査方法

- 空港関係者へのヒアリング
- 旅客ターミナル等の視察調査
- 資料分析（入手資料・空港のホームページ等）

## ヒアリング先

(香港)

Airport Authority Hong Kong

< 香港国際空港管理局 >

(シンガポール)

Civil Aviation Authority of Singapore

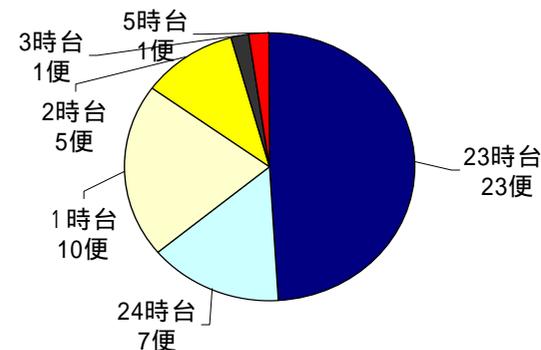
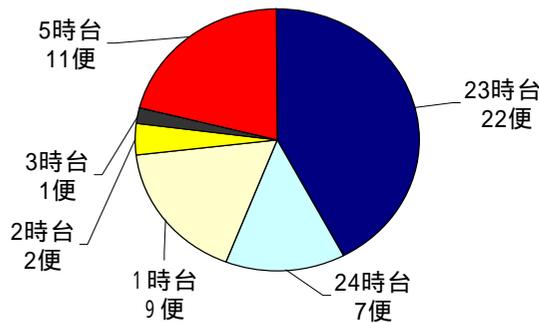
< シンガポール民間空港庁 >

本邦エアライン(JAL・ANA)の現地事務所へのヒアリングも実施。

## 1. 深夜早朝時間帯(23:00 ~ 6:00)の利用状況

### < 旅客便 > 99便 (全体の16%)

- ・21時~24時がチャンギ空港のピーク時間であるが、24時台、1時台は到着、出発とも便数が多い。
- ・2時台~4時台の到着便は少ない。
- ・3時台~5時台の出発便は少ない。

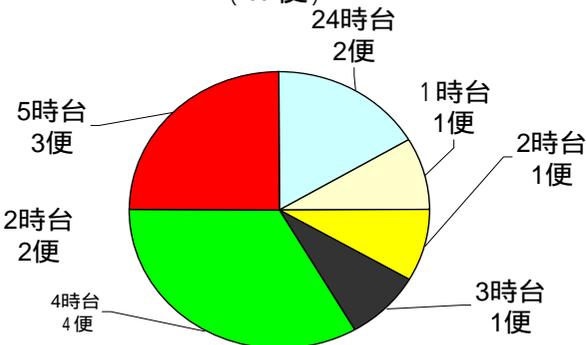
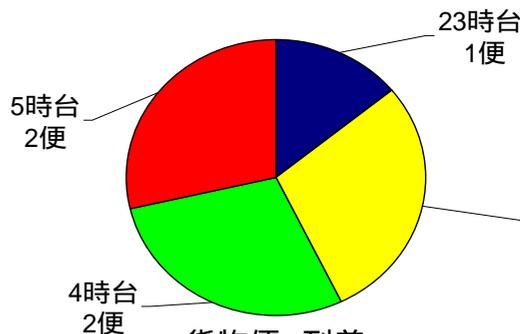


旅客便 到着  
(52便)

旅客便 出発  
(47便)

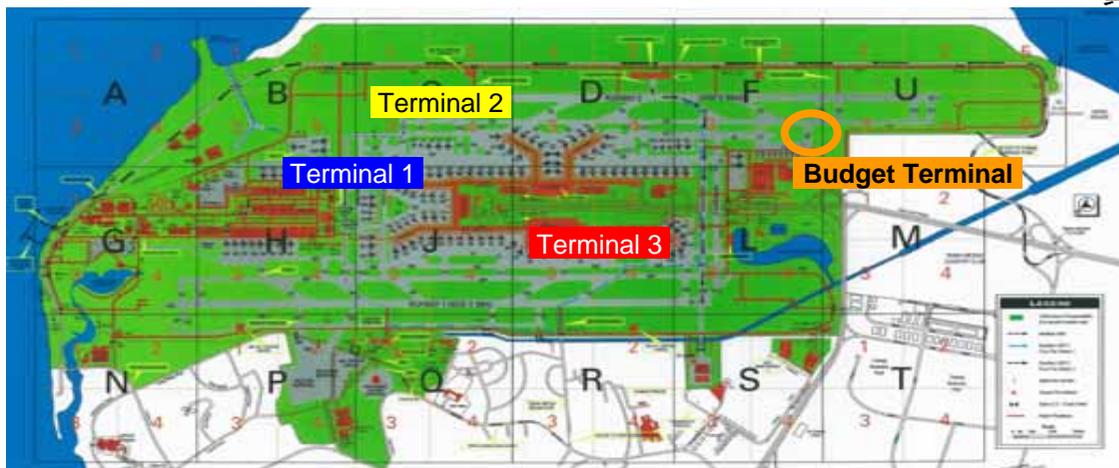
### < 貨物便 > 19便 (全体の35%)

- ・貨物便の深夜早朝時間帯に運航する比率は高いが、旅客便に比べて便数は少ない。



貨物便 到着  
(7便)

貨物便 出発  
(12便)



4/17のチャンギ空港のフライト情報より分析

## 2. 空港の運用時間 (ターミナル内施設等)

< 旅客ターミナル > 全ターミナルで24時間運営

一部のターミナル内・間移動用シャトルは、深夜(2:30~5:00)休止。

< CIQ施設 > 24時間

< 物販・DFS・飲食関係 >

開店 6:00~10:00 閉店 23:00~25:00

一部のコンビニ、カフェ・ファーストフード店は、24時間営業

< その他施設 >

・クリニック: 24時間 (各ターミナルに設置)

・インフォメーションセンター: 24時間

・両替: 24時間

・ラウンジ: 24時間 (一部のラウンジは、夜間クローズ)

・ターミナル内ホテル

制限区域: 各ターミナルにトランジットホテル

ターミナル周辺: クラウンプラザホテル(約320部屋。ターミナル3に隣接。)

・その他: 無料映画館、シャワー・マッサージセンター(有料)等が24時間運営



ターミナル移動用シャトルの路線(上)、案内(下)

各施設の運営時間は、各事業者の判断で行っているが、ほとんどの施設(物販・レストラン等含む。)が24時までは運営

## 3. 空港アクセス

< 鉄道 >

5:30(始発)~23:18(終電)

(市内まで約2~3SGD (約130~200円))

(市内まで27分。)

< バス >

6:00(始発)~24:00(終発)

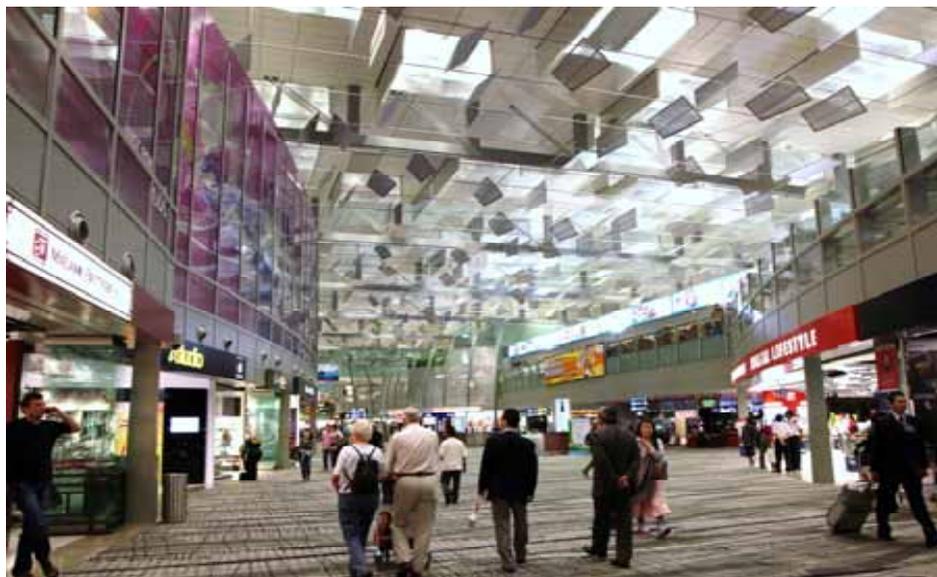
(市内まで、0.90~1.80SGD (約60~120円))

< タクシー >

24時間

(市内まで約20~35SGD (約1,300~2,300円))

(また、リムジンタクシーは、一律45SGD (約3,000円))



店舗ゾーン (ターミナル3 エアサイド内) 【22時半頃】



店舗ゾーン (ターミナル2 エアサイド内) 【23時頃】



ターミナル内の案内



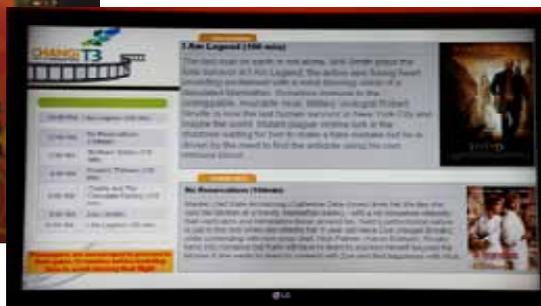
インフォメーションセンター(ターミナル3 エアサイド内)



トランジットラウンジ(ターミナル3) 【22時半頃】



クリニック(ターミナル2 エアサイド内) 【23時頃】



無料映画館(ターミナル3 エアサイド内)

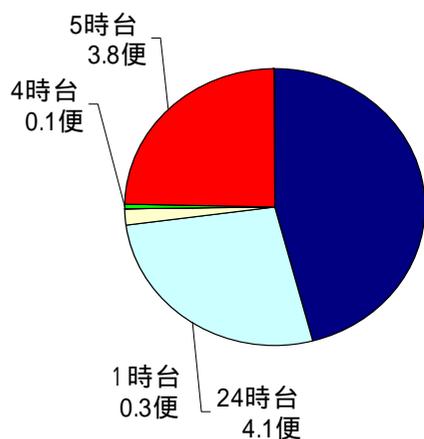


トランジットホテル(ターミナル3 エアサイド内)

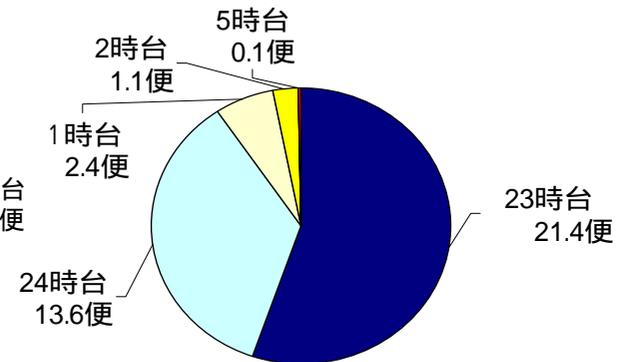
## 1. 深夜早朝時間帯(23:00~6:00)の利用状況

< 旅客便 > 1日:54便 (全体の7%)

- ・1時台~4時台の到着便は少ない。
- ・1時台以降の出発便は少ない。



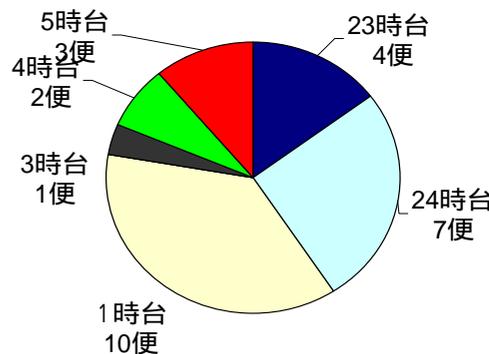
旅客便 到着  
(15便)



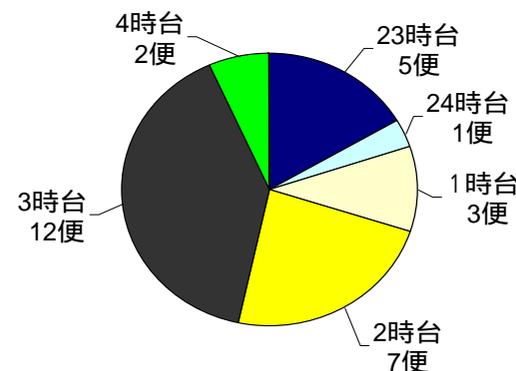
旅客便 出発  
(39便)

< 貨物便 > 1日:57便 (全体の44%)

- ・貨物便の深夜早朝時間帯に運航する比率はシンガポール以上に高く、かつ便数も旅客並み。
- ・特に、アジア便の利用が多い。



貨物便 到着  
(27便)



貨物便 出発  
(30便)



旅客は、4/9~17のフライト情報。  
貨物は、4/17のみのフライト情報より分析

## 2. 旅客ターミナル

<旅客ターミナル> 24時間運営(部分的にクローズ)

深夜早朝時間帯の旅客需要が少ないことから、ターミナルはセキュリティゲートから近いエリアのみを使っている

<CIQ施設> 24時間

<物販・DFS・飲食関係>

開店:6:30~9:00 閉店21:00~25:00

ほとんどの商業施設は、23:30までには閉店している。

また、一部のコンビニ、ファーストフード店は、24時間営業

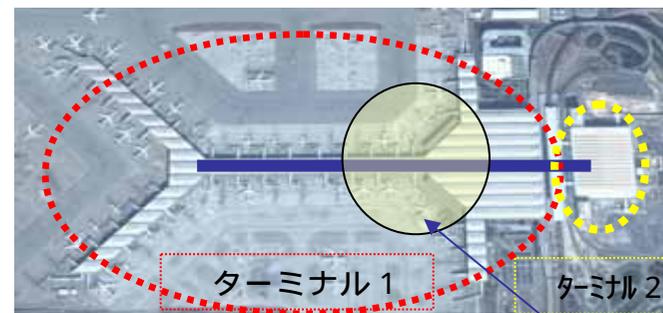
<その他施設>

・クリニック: 7:00~24:00

・インフォメーションセンター: 5:30~24:00

・ラウンジ:一部のラウンジで、最終便出発までオープン  
(24時間オープンのラウンジあり。)

・ホテル リーガルエアポートホテル(約1,170部屋 徒歩3分)  
マリオットホテル(約660部屋 シャトルバス3分)  
ノボテルホテル(約440部屋 シャトルバス5分)



(夜間もオープンしているエリア)

## 3. 空港アクセス

<鉄道>

5:50(始発)~0:48(終電)

(香港駅まで24分で100HKD(約1,300円)。1時間5本。香港駅、九龍駅からバスに接続。)

24時台の着陸便の乗客は、0:48が空港発の終電に間に合わない。

<バス>

一部のルートで深夜早朝時間も運行

<タクシー>

24時間

(香港島まで約350HKD(約4,500円))



エアポートエクスプレス



店舗ゾーン (ターミナル1 エアサイド内) 【22時半頃】



ラウンジ (ターミナル1 エアサイド内) 【23時頃】



搭乗ゲート付近の店舗 (ターミナル1) 【25時】



店舗ゾーン (ターミナル2 ランドサイド内) 【20時頃】  
ターミナル2の店舗ゾーンはランドサイド。23時50発が最終便

### 24時間運営の評価・課題・取り組み

#### (1) 深夜早朝時間帯の運航便や利用状況

- ・シンガポール・香港ともに深夜早朝時間帯(23:00～6:00)に相当数の便数が運航されており、特に貨物便については、この時間帯の運航の比率が高い。
- ・シンガポールでは、夜間帯誘致のため、2:00～6:00に離発着すれば、着陸料を40%減免している。
- ・香港は、エアラインや旅客ニーズ等に対応した空港経営の結果であり、空港管理者としては、深夜早朝時間帯の誘致・利用促進を行っていない模様。

#### (2) ターミナル内施設の運営状況

- ・両空港とも、ターミナル内施設は、空港管理者が公募により事業者を選定している。その際、運営時間を選定条件とはしておらず、各施設の営業時間は、原則事業者の判断で決められる。
- ・シンガポールでは、ターミナル内のほとんどの商業施設は24時まで運営しており、24時間運営している施設(主として、ファーストフード、クリニック、インフォメーションセンター等)も多い。ただし、空港管理者からは支援はなく、採算ベースでの運営が基本。
- ・香港では、旅客便の需要の小さい時間帯(24時頃以降)において、利用スポットを集約することにより、ターミナルの運営エリアを限定していた。

#### (3) アクセスの確保

- ・両空港とも、深夜早朝時間帯では、鉄道の運行がなく、バスの運行も頻度・行き先も限定的となるため、車・タクシーの利用が中心。
- ・香港では、鉄道事業者等も含めたアクセス等について調整する協議会があり、遅延時(台風時等)やチャーター等の多い期間(イースター時期等)に臨時便を出している。